



全国公立学校教頭会通信

きずな

第7号



発行 令和4年1月7日

全国公立学校教頭会

電話： 03-3436-6868

Mail： zenkokyo@kyotokai.jp

HP： <http://www.kyotokai.jp>

教頭会通信7号は、令和3年11月4日の「第41回東北地区小中学校教頭会研究大会 青森大会」と令和3年11月12日の「第62回関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会 千葉大会」について報告いたします。ブロック会長様に研究大会の様子をご報告いただきました。ありがとうございました。また、全公教広報部もオンラインで参加して、教頭会通信の掲載内容に活用させていただきました。

1 大会名称 **第62回 関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会 千葉大会**
第52回 千葉県公立学校教頭会研究大会

2 開催期日・場所 令和3年11月12日(金) 場所：オンライン開催

3 日程・大会の概要

(1) 日程

開会行事	13時30分 ~ 13時45分	大会会長挨拶、基調提案
分科会1	13時45分 ~ 14時45分	
分科会2	15時00分 ~ 16時00分	
閉会行事	16時00分 ~ 16時15分	大会宣言採択、次年度開催県会長 閉会挨拶

(2) 概要

- 研究主題 「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」
サブテーマ 夢と思いやりの心を持ち 新しい時代をたくましく生きる子供の育成を目指して
- 分科会 提言Ⅰ、グループ協議、協議内容発表、助言者講評
提言Ⅱ、グループ協議、協議内容発表、助言者講評

4 大会に参加しての感想等

(ブロック長より)

今回の関東甲信越ブロック研究大会千葉大会は、これまでの長い歴史を誇る研究大会で初となる「オンライン」での開催となりました。「教育課程に関する課題」「子どもの発達に関する課題」「教育環境整備に関する課題」「組織・運営に関する課題」「教職員の専門性に関する課題」の5つの研究課題のもとに計12の分科会が組織され、前半(千葉県以外の各都県の提言)、後半(千葉県の提言)に分かれてそれぞれ提言、協議、指導助言の順に分科会が進められました。私は今回、関ブロの会長という立場でいくつかの分科会に参加させていただきましたが、どの分科会も各都県、各地区の特色ある研究実践が報告され、その報告に対して活発な議論が行われていました。特に提言内容については、資料を提示しながら丁寧にまとめられていて、その後の協議がスムーズに展開されました。また、助言者による指導助言も大変分かりやすく、今後私たちが様々な課題に対してどのような点に留意し、どう取り組んでいけばよいのかを具体的に示していただきました。大会後のアンケートでは、参加された方々から「明日からの学校現場での新たな目標を見出すことができました」といった声を数多くいただきました。

今回の研究大会には、各都県より800名を超える多くの参加者のもとで開催されました。今回のオンラインでの研究大会が、「令和の新しい関ブロ研究大会」として今後引き継がれ、また新たな形で構築・発展されていくことを願うばかりです。この研究大会を通じて得たものが今後の教育活動に生かされ、教頭・副校長としての専門性をより一層高め合えていければと考えます。

1 大会名称 **第 41 回 東北地区小中学校教頭会研究大会 青森大会**
第 49 回 青森県小中学校教頭会研究大会 弘前大会

2 開催期日・場所 令和 3 年 1 月 4 日(木) ※ 記念講演等収録日
弘前市岩木文化センター「あそべる」

3 日程・大会の概要

(1) 日程

開会式 なし（主催者挨拶、基調提案のみ 1 月 4 日・11:00～12:00 収録）
記念講演 令和 3 年 1 月 4 日・13:00～15:30 収録
分科会 大会収録による紙面発表
閉会式 なし

(2) 概要

○研究主題 「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」

○記念講演 演題 「大好きなことで、誰かの役に立つ」
～未来を生きる“思い”のチカラ・“行動”のチカラ～
講師 りんごミュージック社長 樋川 新一 氏
特別ゲスト りんご娘 王林 氏

○分科会 ・オンラインを活用して分科会を実施

・紙面発表 遅くとも、2月までには大会収録を全会員に送付予定。

・その他 DVD による映像資料（主催者挨拶、基調提案、記念講演、観光用 PR）

4 大会に参加しての感想等

（ブロック長より）

収録日当日は、弘前地区小学校教頭会会員 17 名、中学校教頭会会員 34 名、会長・研究部長・事務局長の県役員が参集し、主催者挨拶、基調提案、記念講演の収録を実施しました。実行委員会が示したタイムテーブルどおりに収録が進み、滞りなく終了しました。これは、事前の準備作業を含め、実行委員会が周到に計画を立案してきたことによる賜であり、実行委員会の皆さんに感謝申し上げます。

記念講演の前半は、りんごミュージック社長・樋川新一さんによる講演でした。青森を盛り上げたいという“思い”のみで、人材や資本もないまま芸能プロ設立という“行動”に出たことや、実際に始めてみて、利益やエンターテインメントよりも人材育成が大事であることに気付かされたことを、映像を交えつつ熱く語られていました。後半は、特別ゲスト・王林さんも参加し、青森が大好きであるという“思い”が王林さんの“行動”を支える原動力になっていることを明るく語っていました。

最後に、参集型の開催ができなかったことにより、意見交流の場がもてないことが残念であるとの声もありましたので、大会収録や DVD を視聴した感想、意見などを Google フォームにて集約することにしました。たくさんの感想や意見を寄せていただけるよう、期待しているところです。

